

国道309号整備について

【担当省庁】国土交通省

天川村における取組

(現状・課題)

・国道309号は天川村へのアクセス道として、観光をはじめとする経済への寄与や生活道として最も重要な道路である。

また、京奈和自動車道の整備に伴い、国道169号並びに国道168号への迂回路としての機能も持ち、整備の促進が期待されている。

しかしながら、本村中越地区から行者還トンネルまでの区間は、未だ狭隘区間や危険箇所が数多く、その先線にある高さ3mまでの車両しか通行できない白倉トンネルなど更なる整備促進が望まれる。

・天川村、上北山村及び下北山村は、世界遺産「大峯奥駈道」の麓に位置することから、3村が連携し、日本風景街道として広域的な整備を検討しているところである。

また、紀伊半島における国道並びに主要地方道等との道路ネットワークの構築は、防災、観光、産業などに対する地域間交流が促進され、広域的な地域の活性化につながるものである。

・県内有数の観光スポットであり、日本百名山である大峯山の登山口まで観光バスにて訪れるには、白倉トンネルがネックとなって天川村側からはアプローチ出来ない状況である。また、川迫ダム下方の毛敷谷付近の狭歪区間の拡幅が成れば行者還トンネル西口の登山口などを含め、多くの利用者の利便の向上利用者増が見込まれるところである。

・このため、村の取組としては、みたらい溪谷交通量調査実施、交通渋滞解消のための警備員配置や駐車場としての多目的広場の整備推進を行っている。



国にお願いすること

・国道309号は観光を支援する道路であり、社会資本整備総合交付金等の道路整備にかかる必要な予算確保をお願いしたい。

【担当部署】 天川村産業建設課